

第51回国際物理オリンピック (IPhO)2020 および第4回ヨーロッパ物理オリンピック (EuPhO)2020 に向けた研修報告

Training Report for the 51st International Physics Olympiad 2020 and the 4th European Physics Olympiad 2020

東京学芸大¹, 岡山一宮高², 元岡山大³, 元早稲田大⁴, 舞鶴高専⁵, 河合塾⁶, 東京都立大⁷, 東京理科大⁸, 金沢工業大⁹, 元東京大¹⁰, 筑波大学附属駒場中学・高校¹¹, 東京工科大¹², 元東北大¹³, 長崎大¹⁴, 津山高専¹⁵, 元産総研¹⁶, 高千穂大¹⁷, 東京大¹⁸, 京都大¹⁹, 元東京理科大²⁰

松本益明¹, 中屋敷勉², 東辻浩夫³, 栗原進⁴, 上杉智子⁵, 大原仁⁶, 岡部豊⁷, 興治文字⁸, 金子朋史⁶, 杉山忠男⁶, 田中忠芳⁹, 波田野彰¹⁰, 吉岡大二郎¹⁰, 真梶克彦¹¹, 安藤静敏⁸, 毛塚博史¹², 近藤泰洋¹³, 呉屋博¹⁴, 佐藤誠¹⁵, 鈴木功¹⁶, 並木雅俊¹⁷, 長谷川修司¹⁸, 高橋拓豊¹⁸, 福澤昂汰¹⁸, 吉田智治¹⁸, 小宮山智浩¹⁸, 中江優介¹⁸, 渡辺明大¹⁸, 石井敬直¹⁸, 氏野道統¹⁹, 大倉拓真¹⁸, 岸本竜太¹⁸, 喜田輪¹⁸, 永瀆壮真¹⁸, 西幸太郎¹⁸, 松下謙太郎¹⁸, 吉見光祐¹⁸, 北原和夫²⁰

Tokyo Gakugei Univ.¹, Okayama Ichinomiya HS², ex- Okayama Univ.³, ex- Waseda Univ.⁴, NIT Maizuru College⁵, Kawai-juku⁶, Tokyo Metro. Univ.⁷, Tokyo Univ. of Sci.⁸, Kanazawa Institute of Tech.⁹, ex- UTokyo¹⁰, Junior & Senior H.S. at Komaba¹¹, Tokyo Univ. of Tech.¹², ex- Tohoku Univ.¹³, Nagasaki Univ.¹⁴, NIT Tsuyama College¹⁵, ex- AIST¹⁶, Takachiho Univ.¹⁷, UTokyo¹⁸, Kyoto Univ.¹⁹, ex- Tokyo Univ. of Sci.²⁰,

M. Matsumoto¹, T. Nakayashiki², H. Totsuji³, S. Kurihara⁴, T. Uesugi⁵, H. Ohara⁶, Y. Okabe⁷, F. Okiharu⁸, T. Kaneko⁶, T. Sugiyama⁶, T. Tanaka⁹, A. Hatano¹⁰, D. Yoshioka¹⁰, K. Shinkaji¹¹, S. Ando⁸, H. Kezuka¹², Y. Kondo¹³, H. Goya¹⁴, M. Sato¹⁵, I.H. Suzuki¹⁶, M. Namiki¹⁷, S. Hasegawa¹⁸, H. Takahashi¹⁸, Y. Fukuzawa¹⁸, S. Yoshida¹⁸, T. Komiyama¹⁸, Y. Nakae¹⁸, A. Watanabe¹⁸, T. Ishii¹⁸, M. Ujino¹⁹, T. Ookura¹⁸, R. Kishimoto¹⁸, R. Kida¹⁸, S. Nagahama¹⁸, K. Nishi¹⁸, K. Matsushita¹⁸, K. Yoshimi¹⁸, K. Kitahara²⁰

E-mail: masuaki@u-gakugei.ac.jp

2019年8月に行なわれた第2チャレンジにおいて、第51回国際物理オリンピック (IPhO)2020 リトアニア大会の日本代表候補者12名を選出した。その後、9/21~23に軽井沢で秋合宿、12/20~23に東京都八王子市で冬合宿をおこない、さらに通信添削により研修をおこなった。3月末に春合宿をおこなう予定であったが、新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の拡大により中止し、実験および理論の試験のみをおこなって日本代表5名を選出した。

しかしながら、COVID-19の世界的な感染拡大のため、IPhO2020は1年延期されて2021年7月17日~25日にリトアニアの首都ビリニュスで行なわれる予定に変更され、その後の大会も1年ずつ遅らせることが発表された。今年の代表は来年の大会に出場することができないため一旦研修は中止されたが、第4回のヨーロッパ物理オリンピック (EuPhO)2020が7/20~26の予定で、オンラインで行なわれることとなり、ヨーロッパ外の国のゲスト参加が拡充されたため、日本も参加を申し込むこととなり、研修が再開された。試験は7/21と7/22のグリニッジ標準時の9時~14時 (日本時間18時~23時)に行なわれる予定である。公平性を確保するために試験の2,3時間前に問題が送付され、部屋の様子をヨーロッパから監視できるようにした上でヨーロッパと同時に試験をおこない、終了後はそのまま監視下で解答のスキャンと送信をおこなうことが求められており、それに対応可能で、三密も避けられる部屋の確保などの準備も進めている。理論試験だけでなく実験試験も遠隔で行なわれる予定であり、それらの様子や結果についても発表する予定である。